

座頭市 (2003)

メディア 映画

ジャンル 時代劇 アクション

製作国 日本

色彩 Color

時間 115分

初公開日 2003/09/06

公開情報 松竹=オフィス北野

映倫 R-15

【キャッチコピー】

もはや、敵なし。

最強。

【解説】

勝新太郎の代表作「座頭市」を、長年の念願でもあった北野武監督が映画化。監督自ら考案・指導したスピード感と迫りに満ちた殺陣をはじめ、独自の解釈と工夫で描くエンターテインメント・アクション時代劇。主演はビートたけし。共演に浅野忠信。岸部一徳、柄本明らベテラン、実力派俳優が脇を固める。2003年ベネチア国際映画祭コンペティション部門正式出品作。

その日、訳ありの三組が同じ宿場町にやってきた。一人は金髪で朱塗りの杖を持ち、盲目の居合いの達人・座頭市。もう一組は浪人の服部源之助とその妻おしの。殿様の師範代という身分を捨てた服部は、病気を患う妻のために用心棒の職を探していた。さらにもう一組、旅芸者のおきぬとおせいの姉妹。彼女たちの三味線には人を殺めるための仕掛けが施されていた。それぞれに影を秘めた三者の皮肉な運命の糸は、町を仕切るヤクザの親分・銀蔵と大店の主人・扇屋を介してついに交錯、やがて因縁や怨恨の入り交じる壮絶な闘いが幕を開ける。

【クレジット】

監督	北野武	Takeshi Kitano
企画	齋藤智恵子	
プロデューサー	森昌行	Masayuki Mori
	齋藤恒久	
原作	子母沢寛	
脚本	北野武	Takeshi Kitano
撮影	柳島克己	
美術	磯田典宏	
編集	北野武	Takeshi Kitano
	太田義則	
音楽	鈴木慶一	
衣裳監修	山本耀司	
衣裳デザイン	黒澤和子	Kzuko Kurosawa
照明	高屋齋	
録音	堀内戦治	
助監督	松川嵩史	
出演	ビートたけし	Beat Takeshi 座頭市

浅野忠信	Tadanobu Asano	服部源之助（浪人）
夏川結衣		おしの（浪人の妻）
大楠道代		おうめ
橘大五郎		おせい
大家由祐子		おきぬ
ガダルカナル・タカ		新吉
岸部一徳		銀蔵
石倉三郎		扇屋
柄本明		飲み屋の親父
樋浦勉		飲み屋の爺さん
三浦浩一		御前試合の殿様
つまみ枝豆		飲み屋の大工
芦川誠		飲み屋の大工
無法松		走り廻る男
田中要次		船八一家の子分
津田寛治		遊び人
六平直政		街道のヤクザ
國本鍾建		御前試合の浪人
吉田絢乃		幼少の頃のおきぬ
早乙女太一		幼少の頃のおせい
THE STRIPES	THE STRIPES	